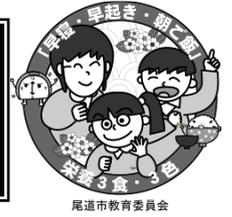


きゅうしょくだよい

尾道市教育委員会

1月

「食育の日」・毎月19日は「感謝・完食」の日（残菜ゼロの取組）（令和2年度）

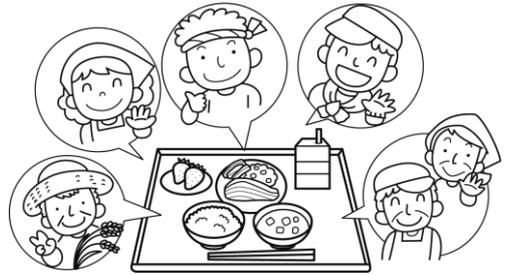


尾道市教育委員会

冬休みも終わり、いよいよ今年度も残り少なくなりました。今年も元気に1年を過ごせるよう、規則正しい生活を心がけましょう。

1月24日～30日は「全国学校給食週間」

学校給食のはじまりは、明治22年に山形県鶴岡市の忠愛小学校で、お弁当を持ってこられない子どもたちのために食事を出したことが始まりとされています。この期間を通して、改めて食と健康について考える1週間にしましょう。



ちさんちしょう 地産地消ってなに？

「地産地消」とは、「地域生産・地域消費」を短くした言葉で、「地域でとれたものを地域で食べる」という意味です。

尾道市は山、海、大地に囲まれ四季折々の新鮮な食材が収穫できる豊かな街です。地産地消には良いことがたくさんあり、給食でも積極的に地産地消をすすめています。

あんしん 安全



地元でとれた食べ物は、作っている人の顔が見え、話ができるので安心・安全です。

しんせん 新鮮



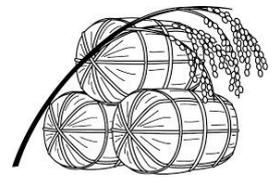
生産地が近いので、新鮮でおいしい食材を買うことができます。

かんきょう よ 環境に良い



運ぶ距離が短く、エネルギーが少なく、すむので、環境にやさしいです。

れきし し 歴史を知る



農業や食品産業などが、なぜ始まったのか考えることで地域の歴史がわかります。

毎月の給食献立表の太字は広島県内産の食材です。わけぎやかんきつ類は尾道市産を使うことが多いです。

